

# 救急対応教育

～迅速な対応は日頃の準備から～



## 反応（意識）の確認

- ①対象者に、大きな声をかけ、肩を軽く叩き、反応（意識）の有無を確認する。
- ②反応、意識がなかったり、いつもと様子が違う場合は、まず協力者を求める。



## 呼吸の確認

対象者が心停止を起こしているかを判断するために行なう。

- ①胸部と腹部の動きの観察に集中する。
  - ②普段通り呼吸がない場合、その判断に自信が持てない場合は、胸骨圧迫(心臓マッサージ)を開始する。
- ・呼吸の確認は、10秒以内かけないようにする。



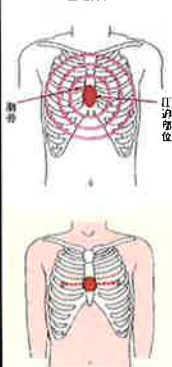
## 心肺蘇生

### 胸骨圧迫

心臓が痙攣したり、停止したりして、血液を送り出せない場合に、心臓のポンプ機能代行のため実施する。

- ①対象者を固い床面等に上向きに寝かせる。
- ②救助職員は、対象者の片側、胸のあたりに両肘を月、対象者の胸骨(目安は胸の真ん中、左右の乳頭の中心)に片方の手の手掌基部を置き、その上にもう片一方を重ね、上に重ねた手の指で、下の手の指を引き上げる。
- ③救助者は、両肘を伸ばし、脊柱に向かって垂直体重をかけて、胸骨を約5cm(成人の場合)押し下げる。
- ④手を胸骨から離さず、速やかに力を緩め本の高さに戻す。
- ⑤胸骨圧迫は1分間当たり、100~120回のテンポで実施する。尚、人工呼吸を併用の場合、胸骨圧迫30回続け2回を繰り返す。

圧迫部位



手掌基部



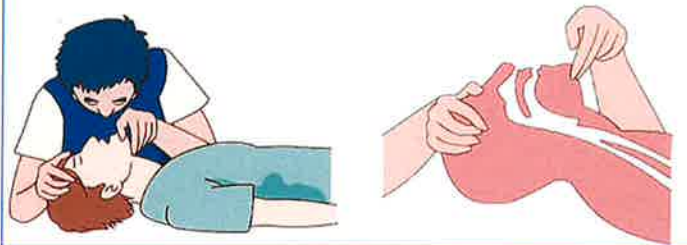
## 気道確保

呼吸を確認できた場合は、まず、気道確保を行なう。

### 気道確保（頭部後屈あご先挙上法）

一方の手を傷病者の額に、他方の手の人差し指と中指を下あごの先に当て、下あごを引き上げるようにして、頭部を後方に傾けます。（頭部後屈あご先挙上法）

頸椎損傷が疑われる場合は、特に注意して静かに行います。



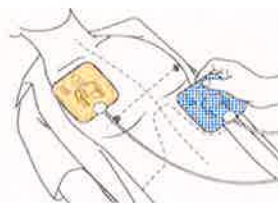
## AED使用

AEDは簡単3ステップ  
音声ガイドに従って操作します

1 フタを開けると自動電源ON



2 電極パッドを胸に貼る



3 ボタンを押して電気ショック

